

◆くまもと環境フェア2011◆

10月22日(土)・23日(日)の2日間に渡り、熊本市動植物園にて「くまもと環境フェア2011」が開催され、当組合も参加しました。

このイベントは、一人ひとりが自然や生き物が多種多様に存在することが私たちの生活の基盤であることを認識するとともに、環境・エネルギー問題を自らの問題としてとらえ、環境やエネルギーに配慮したライフスタイルへと転換を図るための機会を提供する目的として開催されています。

当組合からは、不法駐輪・放置自転車の現状を多額の税金によって処理されていることをパネルに展示し、電動アシスト自転車の試乗会をパナソニックサイクルテックさんに協力いただき、環境問題を訴えました。



案内図とメインステージ



パネル展示



電動アシスト車の試乗風景

☆☆自転車安全教育指導員認定講習会☆☆

熊本県交通安全協会による「平成23年度自転車安全教育指導員認定講習会」が、10月27日(木)本田技研工業(株)体育館[大津町]にて32名の参加で開催されました。毎年、当組合からも受講者を募っており、今年は八代支部の萬さんと宇土支部の金田さん園川さんの3名が受講されました。

「自転車の通行方法に関する交通法規」等の講義を受講し、体育館では「自転車の点検」や大会用のコースを利用して「安全な乗り方」等、指導員として必要な知識・技能を習得し「修了証」をいただきました。

また、森理事長が講師として演壇に立ち、このところ巷を賑わしている「ピスト自転車」を持ち込んで講演を行い、矢加部副理事長と福岡事務局がスタッフとして参加いたしました。

来年度も開催されると思いますが、市町村交通関係者・学校教員・地区交通安全協会役員を対象にした講習会ですので、簡単に受講することはできません。受講を希望される方は今のうちから組合事務所に申し込みをお願いいたします。



当日の様子

●全国初となる協定を締結

県警によれば、昨年の自転車乗車中の死亡事故は16件で全体(78件)の2割に上り、自転車の事故防止対策として県と県警、県教育委員会が10月20日自転車の安全利用啓発などで協力協定を結びました。この協定の中には「販売店との連携が不可欠」ということで量販店2社とともに当組合も入り、県庁で行われた式典に森理事長が出席しました。このように県の機関と販売店が協力する協定は全国で初めてということです。別紙にて詳細はお伝えいたします。(右は、10月21日付けの熊日朝刊)



●スポーツバイクメカニック教本

組合研修会時にも案内しておりましたが、スポーツ車を取り扱う過程において必要と感じますので再度ご案内いたします。組立整備技術の向上、技術レベルの底上げ、ノウハウの共有を目的として自転車産業振興協会より販売や修理に役立つ「スポーツバイクメカニック教本」[ロードバイク編]と[MTB編]は各2,520円(送料別)。組合を通じての販売価格は、1冊1,785円です。購入をご希望で、まだお求めでない方は組合事務所までご注文下さい。

